

熱中症患者の医学情報等に関する疫学調査（Heatstroke STUDY）

この研究は、通常の診療で得られた診療情報等を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さまの一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表しません。

1. 研究の対象

西暦 2020 年 7 月 1 日から同年 9 月 30 日まで、また西暦 2021 年 7 月 1 日から同年 9 月 30 日に、湘南鎌倉総合病院の救命救急センターにおいて、熱中症と診断された入院患者さまが対象となります。

2. 研究目的・方法

夏季になると熱中症の重症患者に関する報道が多くみられます。しかしながら、本邦における重症熱中症の実態については、ほとんど解明されていないのが現状です。日本救急医学会熱中症および低体温症に関する委員会 は 2006 年 から熱中症の実態に関する全国調査を行い、重症者の多くが日常生活の高齢者であることを明らかにされました。今後は、その病態や治療方法について、より具体的な対策を講じていく必要があります。

本研究は、重症熱中症の全国規模の実態調査であり、先の調査を基に調査項目を設定して、原因や病態の解明および治療や予後の実情を把握し、発生の予防に向けた地域医療へのアプローチを検討することを目的に行います。

3. 研究に用いる情報の種類

診療記録から以下の情報を使用します。

年齢、性別、来院方法、発生状況、現場でのバイタルサイン、既往歴、生活歴、来院時の所見（身体所見・検査所見など）、発生原因、治療法および転帰、等

5. 外部への試料・情報の提供

診療情報を匿名化して、日本救急医学会熱中症および低体温症に関する委員会に Web 登録します。その後、集計・解析を行い、発生予防を含めた対策について検討を行います。

個人情報の保護のため、登録については無記名であり、個人を識別できる情報（氏名、住所、生年月日、電話番号等）は入力されないため、対象者個人の不利益になることはありません。また、日本救急医学会熱中症および低体温症に関する委員会および各所属施設の倫理委員会などの承認を受けた解析担当者のみが登録された情報を利用できます。

6. 研究組織

帝京大学医学部附属病院高度救命救急センターおよび日本救急医学会指導医指定施設、救命救急センター、大学病院ならびに市中の救急部の中で研究への協力が得られた救急医療施設で熱中症と診断された全入院症例

日本救急医学会「熱中症に関する研究・報告について」公式ホームページ

<https://www.jaam.jp/nettyu/nettyusyou.html>

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら以下の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者、研究に関するお問い合わせ先：

〒247-8583 神奈川県鎌倉市岡本 1370 番 1 電話：0467-46-1717 (代表)
湘南鎌倉総合病院 救命救急センター 鎌口 清満

研究代表者：

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-3-12 ケイズビルディング 3 階 電話：03-5840-9870
一般社団法人 日本救急医学会熱中症および低体温症に関する委員会 委員長 横堀 将司

(2020 年 6 月 1 日作成)